



○ 草の根協力支援型

2016年度第2回 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	イランイスラム共和国
2. 事業名	イランのバリアフリー支援事業
3. 事業の背景と必要性	イランでは交通事故件数が世界平均の約20倍と高く、事故による重度障害者が多数報告されている。アルボルズ州では障害者数22,789名（うち脊髄損傷249名・四肢障害7,229名・その他の身体障害2,727名）との報告がある。2009年には障害者権利条約を批准し、国内でバリアフリー会議の開催、州政府内にバリアフリー本部を設置するなど官民一体での取り組みが行われているが、障害者の視点での設備整備（歩道の連続性や点字誘導ブロックの配置・スロープの傾斜、トイレや公共交通のバリアフリー化等）が遅れており、障害者が外出することは困難で自立した生活が難しい状況にある。そのため障害者の視点にたった施設整備のための専門家の育成やバリアフリー整備事業の推進を図り、一般市民に対して障害を持つ人々への理解を促進することが必要となっている。
4. プロジェクト目標	カラジ市行政のバリアフリー専門家とバリアフリー当事者リーダーが参加し、カラジ市に対して具体的にバリアフリーを提案するネットワークができる。
5. 対象地域	イランイスラム共和国アルボルズ州カラジ市
6. 本事業の対象となる人々	カラジ市のバリアフリー担当者、バリアフリーに取り組んでいる障害を持つ当事者のグループ、カラジ市市民（学生・親子）
7. 事業活動と期待される変化	<p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本のバリアフリー専門家がカラジ市行政担当者へワークショップを実施し、バリアフリー専門家を育成する。</li> <li>障害を持つ当事者に対して、バリアフリー当事者リーダーの育成。</li> <li>一般市民へ障害やバリアフリーに対する理解促進を図る。</li> <li>行政担当者と障害当事者リーダーとのネットワークを構築する。</li> </ol> <p>&lt;期待される変化&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>行政担当者の中にバリアフリー専門家が育成される。</li> <li>障害を持つ当事者の中から当事者リーダーが育成される。</li> <li>一般市民の間にバリアフリーに関する理解が促進される。</li> <li>行政担当者が開催するネットワークが構築される。</li> </ol>
8. 実施期間	2018年9月～2022年8月（4年0ヶ月）
9. 事業費概算額	11,531千円
10. 事業の実施体制	現地カウンターパートはカラジ市行政機関のカラジ市研修課や土木課とアルボルズ州福祉省職員が中心となり、障害を持つ当事者グループとともに活動する。
<b>II. 提案団体の概要</b>	
1. 団体名	特定非営利活動法人イランの障害者を支援するミントの会
2. 活動内容	イランの障害者支援のために福祉機器をとどけバリアフリーや看護・リハビリの技術を提供し専門家の人材を育成して、イランの障害者の生活の自立と生活の質の向上を目指す。